



新年ごあいさつ

加古川市長
岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を、ご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

加古川商工会議所会員の皆様には、平素より加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は元日から能登半島地震が発生し、大変な一年の始まりとなりました。また、社会経済情勢に目を向けますと、物価の高騰や賃金の上昇、働き方改革への対応など、依然として厳しい経営環境が続いていることと思います。

こうした状況の中、本市におきましては、令和4年度から開始した民間団体の皆さんによるJ R加古川駅周辺でのイベント開催支援を継続するとともに、昨年11月からは、駅南広場に景観の向上を目的とした社会実験として、人工芝の設置と産官学連携によるストリートファニチャーの配置を行い、親子連れやカップル、学生など、多くの皆さんが公共空間での滞在を楽しまれていました。また、令和5年度に制度を大きく拡充した空き店舗等活用支援事業補助金も、多くの事業者の皆様にご活用をいただいています。このように、本市では、将来のJ R加古川駅前の再々整備に向け、駅周辺が「居心地が良く歩きたくなるエリア」となるよう、人中心の空間づくりと賑わいの創出に向けた取組を積極的に進めています。また、これらの取組との相乗効果を生み出すことができるよう、本市の観光施策の方向性を示す「加古川市観光まちづくりプラン」についても、令和7年3月の策定に向けた検討を進めているところです。

今後も、事業者の皆様が未来を見据えた取組に挑戦していただけるよう、引き続き様々な支援や経済活性化に資する施策を進めてまいります。国内外の社会経済情勢の変化は速く、先を予測することが困難な時代ではございますが、本市が目指す「夢と希望を描き幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、市内事業者の皆様のご協力が不可欠です。事業者の皆様の挑戦、そして、そのエネルギーが加古川市の未来を形作る原動力となることを期待しています。

本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携を図りながら、商工業の振興に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍と本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。